

令和5年台風13号豪雨災害

連合福島災害ボランティア活動

令和5年9月8日の台風13号により、浜通りを中心として大規模な床上浸水等の被害が発生し、特にいわき市は1,200戸以上の床上・床下浸水の被害を受けた。連合福島は社会福祉協議会からの支援要請を受け、被災住宅の早期復旧にむけた災害ボランティアを派遣すべく、構成組織・地域連合・県労福協に対して派遣の要請を行い、9月30日から計7日間、延べ68名の方々からご協力を頂いた。関係各位のご支援により、10月22日で連合福島の災害ボランティア派遣が終了したことを報告する。



日付	組織名			地域・地区		合計	
9月30日(土)	電機2名	自治労2名	JEC連合2名	県北2名	県中1名	9名	
10月1日(日)	自動車2名	JAM3名	電力総連2名	いわき1名	会津3名	11名	
10月7日(土)	UAセンセン2名	JP2名	ゴム連合2名	いわき2名	相双2名	10名	
10月8日(日)	基幹労連2名	私鉄総連3名		県北2名	県中3名	いわき1名	11名
10月14日(土)	自動車総連2名	JAM3名		県南2名	いわき2名	県労福協1名	10名
10月21日(土)	基幹労連2名	紙パ連合1名	私鉄総連2名	県南2名	会津3名		10名
10月22日(日)	全労金2名	労済労連2名		県中1名	いわき2名		7名
						計	68名

連合福島「いわき市への義捐金の贈呈」

連合福島は、いわき市の復旧・復興と被災された方々の早期生活再建を支援するため、いわき市に対し11月17日にいわき市役所にて義援金の贈呈式を行った。

贈呈式の冒頭、澤田会長は『本年9月に発生した台風13号によりいわき市を中心に甚大な被害が発生した。連合福島の組合員から復興・復旧に役立てて欲しいとの思いを義捐金という形でお渡ししたい。』と挨拶し、義捐金の贈呈を行った。その後、澤田会長は、『連合福島は県と市の社会福祉協議会と連携し、いわき地区連合を中心とした災害ボランティアの派遣を行った。災害が起きないことが一番だが、いざ、災害が起こった際は被災地に寄り添うことが大切と考えている。これからも地域のため、支援できる体制を築いていく。』と述べた。

内田いわき市長からは、『県内の各自治体からサポートを頂き、泥かきなどの土砂撤去作業は落ち着いた。今は罹災証明書や解体費用の手続き、税金に関する問い合わせを対応している。これからも内郷で被災された方々に支援を進めるため、頂いた義捐金を大切にに使わせていただきたい。』と御礼の言葉を頂いた。



(左) 内田いわき市長 (右) 澤田連合福島会長

2023年11月17日 いわき市への寄贈